

新興国レポート

2月インドCPI上昇率は前月を上回る

原油価格の高騰等を背景に3月のCPI上昇率は拡大する見通し

- ▶ インドの2月CPI（消費者物価指数）は前年同月比+6.1%となった。上昇幅は1月の同+6.0%より拡大し、RBI（インド準備銀行）の政策目標の上限6%を上回った。
- ▶ ウクライナ情勢の緊迫化による原油価格高騰等を受け、3月のCPI上昇率は拡大する見通し。
- ▶ RBIの金融政策を巡る思惑等からインド10年国債金利は当面上昇基調で推移するものと思われる。

(1) 2月インドCPI上昇率は前月を上回る

- インド統計局が3月14日発表した2月のCPIは前年同月比+6.1%と、1月の同+6.0%から拡大し、RBIの政策目標の上限である6%を上回りました。天候不順による食用油価格の高止まり等を背景に、全体の約5割を占める飲食料品価格が同+5.9%と、1月の同+5.6%から拡大したことがCPIを押し上げました。一方、燃料税の引き下げ措置等により、約1割を占める光熱費が同+8.7%と、1月の同+9.3%から低下したこと等がCPIの上昇を抑えました（図表1）。

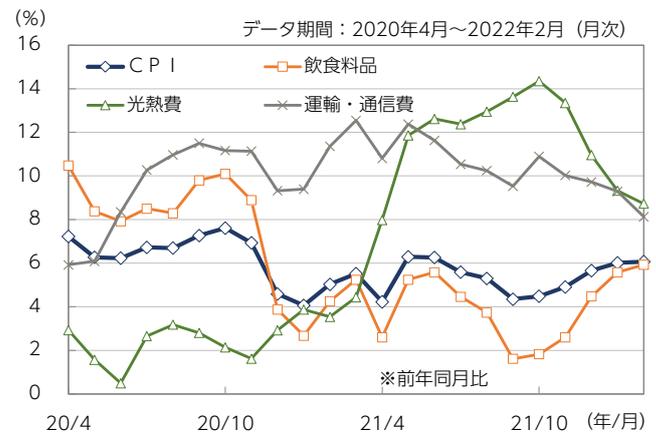
(2) 3月のインドCPI上昇率は拡大する見通し

- インド経済は回復傾向をたどっています。2021年10～12月期の実質GDP成長率は前年同期比+5.4%と5四半期連続のプラス成長となりました。実質GDP額の約6割を占める個人消費が同+7.0%と、2020年10～12月期の同+0.6%から拡大したことが成長を支えました。1月下旬に一時30万人を超えた新型コロナウイルスの新規感染数（7日間平均）はその後大きく減少し、3月12日時点では約4千人程度となっています。一時強まった個人消費の停滞懸念も後退しつつあるようです。インドは国内で消費する原油の約8割を輸入に頼っています。ウクライナ情勢の緊迫化により、WTI原油先物価格は3月に入ると騰勢を強め、一時約14年ぶりの水準に上昇しました（図表2）。堅調な個人消費による需要拡大や原油価格の高騰等を背景に、3月のCPI上昇率は拡大するものと思われます。

(3) インド10年国債金利や通貨の動向

- RBIが2月10日の会合で金融緩和姿勢を維持したことを受け、インド10年国債金利は2月中旬にかけて一旦低下したものの、その後は原油価格の高騰等を背景に上昇傾向となっています。インフレ抑制のためにRBIが次回4月の会合で金融引き締め姿勢に転じるとの見方等から、インド10年国債金利は当面上昇基調をたどるものと思われます。金利差の拡大（インドー日本）観測から、インドルピーは対円で堅調に推移するものと見ています（図表3）

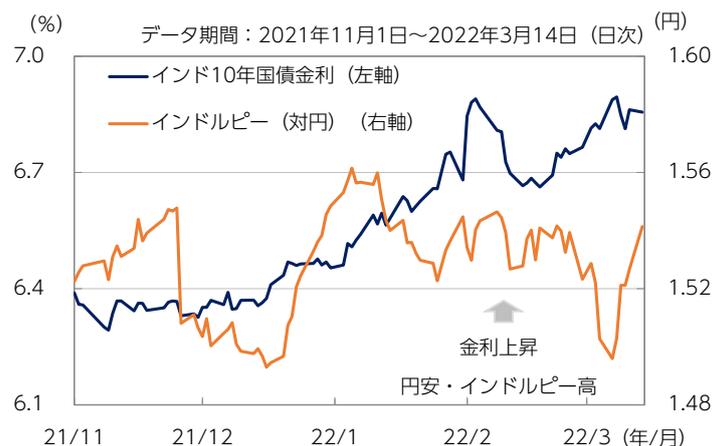
図表1：インドCPIの推移



図表2：WTI原油先物価格の推移



図表3：インド10年国債金利と通貨の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>